

No.316  
1997年  
11月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階  
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

## ●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成10年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(9年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT研究開発本部、秩父小野田(株)等の企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、齋藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞、本告光男、渡辺 浩の各氏お

び新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限りです。なお、ソフトウェア部門は11月28日締切です。

〔学生論文賞〕学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成10年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

## ●日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)第13回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられています。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行った実績も参考として決定したものであります。

### 〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。

(1)教育用ソフトウェア

大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア

(2)OR技術の先端的ソフトウェア

3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）

4. 応募手続：(1)提出書類

①正会員による推薦状 1部

推薦状は学会所定の用紙とします。

②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部  
機能説明書は学会所定の用紙とします。

③その他参考資料

Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。

(2)提出先：日本OR学会表彰委員会

(3)応募締切：平成9年11月28日(金) 必着

5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰します。

6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとしてください。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。

(2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行うこととします。

●平成10年度春季研究発表会

日程：平成10年5月27日(水)～28日(木) 研究発表会 29日(金)見学会(計画中) 5月27日(水)懇親会

場所：仙台市青年文化センター(仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5)

特別テーマ：「身のまわりのORとOR教育」

平成10年度春季研究発表会は、仙台市青年文化センターを会場に開催いたします。会場は仙台駅から地下鉄で約10分、台の原森林公園に隣接した大変自然豊かな環境に恵まれた所です。

さて、このたび我がOR学会もめでたく創立40周年を経て、ますますの発展が期待されております。そこで今回の研究発表会では、OR活動のさらなる普及・発展を願い、特別テーマを「身のまわりのORとOR教

育」と設定しました。身近な話題や研究ならびに教育体験等を題材に、これからのORについて活発に議論したいと思っております。

会場の都合等により、今回新しい試みとして、研究発表の約半数をペーパーフェア形式の研究発表とすることにいたしました。そして従来のようにペーパーフェア研究発表だけの時間帯を設けるのではなく、2つのセッション(場合によっては3つのセッション)をペーパーフェア形式による研究発表として、一般研究発表と並行して同時進行させます。つまり「セッション丸ごとペーパーフェア」です。このペーパーフェア研究発表会場には、会員談話室を兼ねた、広い交流ホールを用意しました。お茶を片手にブースをひとつひとつ聞くこともできるし、研究発表を話題にじっくり議論もできます。多数の参加、研究発表を楽しみにしております。(どのセッションをペーパーフェア研究発表形式にするかは、プログラム作成時に決定いたします。発表者の方には確定次第ご連絡いたします。)

実行委員長：松田泰(東北支部長、東北電力)

参加費：正・賛助会員6,000円、学生会員2,000円、非会員10,000円

登壇料：非会員のみ2,000円/件(本学会の許可が必要)

特別講演：5月27日(水)、28日(木)(計画中)

懇親会：5月27日(水) 18時(予定)より 参加費6,000円

見学会：5月29日(金) (計画中)

発表形式：(A)特別テーマ発表 (B)一般発表 (C)部会報告 (D)ソフトウェア発表

(A)、(B)、(C)ともアブストラクトは、1件2頁とし、申し込まれた研究発表は、セッションを中心に整理しプログラムを作成いたします。したがって申し込みの発表が「講演形式」か「ペーパーフェア形式」かは、プログラム作成時に決定いたします。発表申込者には確定次第(2月初旬頃)ご連絡いたします。なおOHP以外、ソフトウェア発表等で必要な機材は各自で調達お願いいたします。その際実行委員会(下記問合せ先)へ事前登録の連絡をお願いします。

発表申し込み締切日：1月30日(金)消印有効(期限厳守)

発表申し込み用紙等請求先：〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3F 日本OR学会事務局  
Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

発表申し込み書送付先：〒980-77 仙台市青葉区川内 東北大学経済学部 安田一彦

★★今回に限り従来の申込書は使用しないでください。

問合せ先：〒980-77 仙台市青葉区川内

★東北大学経済学部 安田一彦 (プログラム委員)

Fax. 022 (217) 6321 Tel. 022 (217) 6296

E-mail: yasuda@econ.tohoku.ac.jp

〒020 盛岡市上田3-18-34

★岩手大学人文社会科学部 石川明彦 (実行副委員長)

Fax. 019 (621) 6810 Tel. 019 (621) 6806

E-mail: ishiaki@msv.cc.iwate-u.ac.jp

### ●平成10年度秋季研究発表会

日 程：平成10年10月15日(木)～16日(金)

場 所：日本大学会館

〒102 千代田区九段南4-8-24

(市ヶ谷駅から徒歩3分)

実行委員長：高橋磐郎 (日本大学生産工学部)

実行副委員長：大沢慶吉 (日本大学生産工学部)

### ●平成9年度第1回ORセミナー

「多変量解析の基礎と応用」

セミナーのねらいと参加のおすすめ

不確定要素を含んだ現実のデータから、真の因果関係を抽出する方法が多変量解析と呼ばれる方法である。最近では、データをもとにした計画立案の手法として多変量解析が定着しつつある。本セミナーでは、多変量解析の基礎を解説するとともに、昨今のパソコンの高速化とともに発展してきた最新のパソコンソフトを紹介し、コンピュータとの対話形式での解析法を中心としてその応用について解説する。

日 時：1997年12月11日(木) 9:30～17:00

会 場：東京ガス(株) 本社ビル13階1307会議室

(〒105 東京都港区海岸1-5-20 Tel.03-5400-7596)

(ただし緊急時のみ)

(JR浜松町駅南口下車徒歩5分 地下鉄都営浅草線大門駅下車徒歩10分)

オーガナイザー・講師：芳賀敏郎 (東京理科大学 非常勤教授)

プログラム：

「データ解析の基礎」

「主成分分析」

「回帰分析の基礎」

「回帰分析の応用」

「ロジスティック回帰分析」

「多段層別分析 (AID)」

参加費：正・賛助会員25,000円、学生会員5,000円、非会員30,000円 (協賛学協会の会員は正会員に同じ)

申し込み方法：11月号とじ込みをご利用いただくか、OR学会事務局に参加申込書をご請求ください。

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

協賛 (依頼中)：応用統計学会、経営情報学会、計測自動制御学会、情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本応用数理学会、日本機械学会、日本経営工学会、日本建築学会、日本統計学会、日本品質管理学会

### ●研究部会・グループ開催案内

〔イノベーション〕

・第18回

日 時：11月8日(土) 14:00～17:00

場 所：中央区新富1-13-14 Tel. 03(3352)9131

ワーカーズ・サポートセンター

(旧東京都勤労福祉会館) 603室

テーマと講師：「イノベーションのための人間行動」第5回

(15世紀の王陽明、21世紀の陽明学)

上田亀之助

問合せ先：上田亀之助 Tel. 03(3351)4023

〒160 新宿区若葉1-19-13

〔評価のOR〕

・第5回

日 時：11月15日(土) 13:30～16:00

場 所：成蹊大学資料館 (吉祥寺駅下車、バス成蹊学園前下車、正門を入れて右側、守衛所のすぐ先、吉祥寺駅より徒歩20分)、大会議室

テーマと講師：

(1)「ファジィを用いた新しい評価方法とDEA」

高萩栄一郎 (専修大学)

(2)「On a certain equivalence between AHP and binary choice probability problem: A new characterization of Saaty's eigenvector method」

斎藤参郎 (福岡大学)

問合せ先：NTTマルチメディアネットワーク研究所

篠原 正明

Tel. 0442(59)2495 Fax. 0422(59)2829

E-mail: sinohara@hashi.tnl.ntt.co.jp

〔マーケティングモデル〕

データ分析コンペ「観光地の競合モデル」

第3回中間発表会

日時：11月17日(月) 19:00~21:00

場所：立教大学 7号館7302教室

問合せ先：寺崎達雄 (JTB)

Tel.03(3242)7921

E-mail: LEF02511@niftyserve.or.jp

守口 剛 (立教大学)

Tel.03(3985)2298

E-mail: moriguchi@rikkyo.ac.jp

〔オープンネットワークと情報活用〕

日時：11月20日(木) 18:00~20:30

場所：NEC本社ビル (JR山の手線、京浜東北線田

町駅、都営浅草線、都営三田線三田駅) 2階会議室)

テーマと講師：「衛星インターネットの現状と動向」

長澤 宏和/佐藤真一 (㈱衛星ネットワーク 第一  
ネットワーク本部 本部長/課長)

問合せ先：

東京工業大学工学部社会工学科 松井 啓之

Tel.03(5734)3191 Fax.03(5734)3199

E-mail: hmatui@soc.titech.ac.jp

〔高度情報化社会における交通・流通〕

・第30回

日時：11月21日(金) 18:00~20:00

場所：東洋経済新報社ビル (日本橋)

テーマと講師：「米国を中心とした最近の外国鉄道関  
係の話題」 永瀬 和彦 (金沢工業大学)

問合せ先：八戸英夫 (工学院大学)

Tel.03(3342)1221 (内2423)

E-mail: at79114@ns.kogakuin.ac.jp

〔システムの最適化とOR〕

・第3回

日時：12月5日(金) 14:30~17:00

場所：リファーレ金沢3階集会室

テーマと講師：

1. 「線形多目的計画問題について」

前田 隆 (金沢大学経済学部)

2. 「単調ブール関数に関する二分決定グラフの変数順  
序決定アルゴリズムとその評価」

高木 昇 (富山県立大学工学部電子情報工学科)

問合せ先：前田 隆 (金沢大学経済学部)

〒920-11 金沢市角間町

Tel.076(264)5409 Fax.076(264)5444

E-mail: takashim@kenroku.ipc.kanazawa-u.  
ac.jp

●会合案内

〔第173回新宿 OR 研究会〕

日時：11月18日(火) 12:00~13:30

場所：レストラン・レダ 新宿センタービル53F

テーマ：「数値制御とロボット」

講師：原 亨 (ファナック東京事務所長)

参加費：3,000円

〔第52回丸の内 OR 研究会〕

日時：11月12日(水) 18:30~21:00

場所：学士会館 (神田錦町3-28)

テーマ：「地球にやさしいビジネスの追求」

講師：大和田順子 (㈱インフォレスト コミュニケ  
ーション部 部長)

参加費：丸の内 OR 研究会会員 (無料)

非会員 (4,000円) 当日受付でお支払いください。ただ  
し、参加については1週間前までにお問い合わせくだ  
さい。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 山本真士

Tel.03(3457)6745

〔第53回丸の内 OR 研究会〕

日時：12月10日(水) 18:30~21:00

場所：学士会館 (神田錦町3-28)

テーマ：「採用支援コンサルテーションからビジネス  
スクール運営への展開と今後」

講師：宇野康秀 (㈱インテリジェンス 代表取締役  
社長)

参加費：丸の内 OR 研究会会員 (無料)

非会員 (4,000円) 当日受付でお支払いください。ただ  
し、参加については1週間前までにお問い合わせくだ  
さい。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 山本真士

Tel.03(3457)6745

●平成10年度研究部会新設・継続申請受付

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つと  
して研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをし

てまいりましたが、来年度もこの方針にしたがって研究部会を積極的に育成していくことになりました。つきましては、新しい部会活動のご提案をふるって学会事務局にお寄せください。また現在活動中の部会のうちで来年度も継続して活動することを希望される部会の主査の方は、継続の申請をしてください。申請用紙は事務局に用意してあります。締切は11月28日(金)です。部会メンバーの公募につきましては当委員会がお手伝いします。また部会が発足しますと、財政的な補助もいたします。部会の設置期間は原則として2カ年以内ですが、理事会の承認が得られれば、さらに1カ年以内延長することも可能です。部会のテーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

現在、次の部会・グループ・特設研究部会が設置されています。

待ち行列、OR/MSとシステム・マネジメント、離散系シミュレーション、高校生のためのOR、COMのための生産計画・スケジューリング、広域インフラストラクチャー計画に関するOR、最適化理論とその応用、マーケティング・モデル、オープンネットワークと情報活用、グローバル政策、ファジィ動的計画法、理工学、システムの最適化とOR、エネルギー産業のOR、高度情報化社会における交通・流通、イノベーション、組合せ最適化、ORソフトウェア、環境問題、都市のOR、ORリテラシー、評価のOR、数理計画法研究会

### ●国際会議案内

- Fourth ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design  
日 程：1998年8月12日(水)～14日(金)  
会 場：米国ワシントン州シアトル  
主 催：ISSAT(International Society of Science and Applied Technologies)

### ●APORS'97のご案内

APORS'97が11月30日(日)～12月4日(木)、メルボルンにおいて開催されます。下記のとおり国際会議への参加旅行を企画いたしました。[含航空運賃・ホテル代(2人1室利用)・空港～ホテル間送迎バス代]

Aコース(メルボルンのみ)

11月28日(金)～12月6日(土)～9日間198,000円

Bコース(メルボルン・エアーズロック・シドニー)

11月28日(金)～12月9日(火)12日間369,000円  
航空券(東京/メルボルン・カンタス航空利用、往復)

11月28日(金)出発 133,000円

ご参加希望の方は下記まで。

問合せ先：(パンフレット請求先)

近畿日本ツーリスト(株)国際会議センター

担 当：喜多川・篠塚

Tel.03(3502)9053 Fax.03(3502)2920

E-mail：trapax@tabi.knt.co.jp

論文提出締切：1998年1月31日

問合せ先：鳥取大学工学部社会開発システム工学科  
山田 茂 Tel.0857(31)5303 Fax.0857(31)0882  
E-mail：yamada@sse.tottori-u.ac.jp

• 19th IFIP TC7 Conference on System Modelling and Optimization

日 程：1999年7月12日～16日

場 所：Cambridge (England)

発表申込締切：1999年1月末予定

案内請求先：tc7. con@damtp.cam.ac.uk

問合せ先：東京理科大学 矢島敬二

E-mail：yajima@ms.kuki.sut.ac.jp

## ●新入会員

## —正会員—

- \*浦 里 果 01013576 福岡県 農業総合試験場企画経営部経営情報課
- \*加 藤 雅 史 01109940 (株)山一証券経済研究所 投資調査部数量分析グループ
- \*後 藤 典 俊 01109951 室蘭工業大学 工学部情報工学科
- \*下 川 哲 央 01207171 (株)北海道銀行 道銀地域企業経営研究所
- \*廣 津 信 義 01506966 新日本製鐵(株) プラント事業部製鉄プラント第二部
- \*松 居 寛 01606070 キヤノン(株) 技術情報システムセンター CAD 開発部 CAD 第2 開発室
- \*三 好 一 賢 01606085 広島電機大学 情報工学科

## —学生会員—

- \*青 野 裕 一 02004600 東京電機大学
- \*飯 田 直 樹 02004610 筑波大学 大学院経営政策科学研究科経営システム科学専攻
- \*梅 澤 正 史 02004620 慶応義塾大学 大学院理工学研究科管理工学専攻
- \*遠 藤 徹 02004630 東京理科大学
- \*武 田 朗 子 02302370 慶応義塾大学 大学院理工学研究科管理工学専攻
- \*田 村 信 幸 02302380 東京工業大学 大学院社会理工学研究科経営工学専攻
- \*友 田 光 哉 02302390 東京理科大学
- \*洪 蓄 蓄 02991973 静岡大学 人文社会科学研究科経済専攻

## 会員名簿の取り扱いについてのお願い (事務局)

最近会員の方から、学会会員名簿が不動産等の勧誘に利用されている旨のお電話がありました。本名簿は、**会員限定**とされており、会員相互の連絡を目的とするものであります。その業者がどのようなルートで入手されたか不明ではありますが、お手持ちの会員名簿のお取扱いには今後とも十分にご配慮をお願いいたします。

## 学会事務局年末年始休業のお知らせ

平成9年12月29日(月)～平成10年1月6日(火)